

単元名 集めるときに使おう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し、使うことができる。
(2) 目的や意図に応じて引用し、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
(3) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し、引用カードを書こうとする。

標準的な展開例

05010113_001

【教材名】 目的に応じて引用するとき (P.70～P.71)

【準備等】 引用カード

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～2 目的に応じた引用の大切さを知り引用カードを書く。</p> <p>★引用カードを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書(P.70)上段を読んで、目的に応じた引用の重要性について知る。 ○教科書(P.70)下段を読んで、情報を書き留めるときに気を付けることを知る。 ○木原さんの引用カード読み、「水害を防ぐ点からみた森林の働きについて報告する文章を書く場合」の引用カードを書く。 <p>○書いた引用カードの内容を伝え合い、学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何のためにメモをしたのか忘れてしまった経験を思い出させる。 ・同じ資料から引用する場合でも、目的によって引用する部分が違うことを押さえる。 ・引用した文章が目的と合っているか確かめさせる。 <p>【評】引用カードを書く活動を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書(P.71)「いかそう」を確認し、これからの生活に生かす視点をもたせる。

【 備 考 】